

県民ワクワクチャレンジ応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、まちづくり事業等地域を盛り上げる事業に チャレンジする県民を増やす						[問題・課題を表す客観的データ] 総務省「H28社会生活基本調査」まちづくり活動行動率 福井17.9% 石川15.8% 富山16.7% 全国11.3%						
[事業目的] 福井を活性化しようとチャレンジする県民の活動を「ちょい足し」応援する。												
[事業内容] 様々な女性や若者、NPOが行う福井の活性化につながる活動を公募し、公開プレゼンテーションによる審査会を開催、採択された活動に対し資金提供を行う。また、クラウドファンディングを活用し、活動の資金提供を県民に呼びかけることで、県民全体でチャレンジする女性や若者、NPOの活動を応援する機運を高める。 (1) 支援金 【女性枠】・【若者枠】総額300万円(上限100万円/件) 【NPO枠】総額200万円 (2) 採択方法 公募(4~6月)によりプランを募集、公開プレゼンテーション審査会(7月)で採択プランを決定 (3) 審査会 【女性枠】6名: 共通分野3名(まちづくり、事業計画、行政)+女性代表3名 【若者枠】6名: 共通分野3名(同上)+若者代表3名 【NPO枠】5名: 共通分野3名(同上)+NPO中間支援組織2名 (4) 県民への広報 各応援枠の採択結果等を広く県民に周知し、県全体でチャレンジする県民を応援する機運を醸成するため、SNS広告の広報活動ならびに公開プレゼンテーション審査会のインターネットライブ配信(YouTube)および視聴者投票を実施 (5) プラン実行支援 公開プレゼンテーション審査終了後、参加者に県内の地域事業家がマネタイズ、事業構築、情報発信方法指導などを行い、プランの実現と企業との接点作りを支援する												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ふくい若者フォーラム」運営支援事業 (役割分担) 「ふくい若者フォーラム」が本事業の若者枠に関する企画、運営等を担う。					
市町との連携状況						他県の状況						

県民ワクワクチャレンジ応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,716				11,716							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			11,231	12,028	13,027	11,716	クラウドファンディング費用縮減 SNS(Facebook, インスタグラム)Web広告掲載料追加					
2月現計予算額の推移			9,131	11,328	12,427							
決算額の推移			8,525	10,935								
前年度までの 主な増減理由		R2：生涯学習・文化財課から「地域の宝」づくり支援事業（1,000千円）が移管されたため、NPO枠支援金に増額 R3：公開プレゼンテーション審査会のオンライン配信費用追加 公開プレゼンテーション審査会不採択プランの実行支援費用追加										
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	【女性枠】 夢の実現に向けチャレン ジする女性の応援者 (目標) 実績		(400) 400	(400) 289	(400) 454	(400)	(400)	(400)	公開審査会における観客審査の参加者数			
成果指標	【若者枠】 地域づくりに新たにチャ レンジする若者 (目標) 実績		(150) 152	(150) 152	(150) 122	(150)	(150)	(150)	応募されたプランへの参加者数 令和3年度は2月末時点			
成果指標	【NPO枠】 新たな地域づくり活動に 参加した県民 (目標) 実績			(100) 75	(100) 97	(100)	(100)	(100)	応募されたプランへの参加者数			
活動指標	「ちょい足し」応援する 活動数 (目標) 実績		(16) 12	(18) 16	(18) 33	(18)	(18)	(18)	女性枠3、若者枠3、NPO枠2、実行支援10			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
[成果指標] 女性枠：女性の100万円の枠の参加が活発となり達成できた。 NPO枠：昨年に比べて参加者は増えたが、ワクワクチャレのNPO部門の認知度が不足しており、参加者が達成できなかった。 [活動指標] 実行支援を望む人が多く、応援する活動数は達成できた。				応募件数を増やすため、Web広告掲載を実施				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	1,311			
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他				

「ふくい若者フォーラム」運営支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、まちづくりの次世代のプレーヤーとなる若者がやりたいことにチャレンジできる環境をつくる						[問題・課題を表す客観的データ] 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口2040年」20-39歳の割合 福井17.8% 石川19.3% 富山17.6% 全国19.4%						
[事業目的] 若者主体の若者を応援する組織をつくり、若者がやりたいことに思いきりチャレンジできる環境をつくる。 また、若者の活動交流拠点を「見える化」し、日常的な交流を促進することにより、若者の自発的な活動を活発化する。												
[事業内容] (1) 「ふくい若者フォーラム」の運営支援・「ふくい若者ステーション」の認定(333千円) ・若者による地域づくり活動のリーダー層からなる若者の地域活動応援組織「ふくい若者フォーラム」の運営経費を支援 ・「ふくい若者フォーラム」の活動の場として、COTとミーティングを行い、官民一体となって若者支援の体制を整備 ・地域で活動する若者の交流拠点となっているコワーキングスペースやカフェ等を「ふくい若者ステーション」として認定 (2) 若者の意見交換・人材育成イベント「ふくい若者ミライ会議」の開催(550千円) ・ふくい若者フォーラム主催で、地域で活動する若者の意見交換、人材育成を行う「ふくい若者ミライ会議」を開催 (今年度ミライ会議の参加者の意見を反映し、年2回の開催とする) ・ミライ会議で得られた若者の意見を分析し、次年度の若者フォーラムとしての支援事業を検討 (3) 「ふくい若者ステーション」の機能強化(382千円) ・ふくい若者ステーションの運営者が一同に集まる交流会を開催し、若者の新たな活動を創出するきっかけ作りを行う。												
[受益者] 福井県内の若者(18歳~39歳)						[想定される受益者数] 16万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若者チャレンジ応援プロジェクト事業 (実績) 若者チャレンジクラブ登録者数 1085名 若者チャレンジプランコンテスト 活動55プラン実施 若チャレ祭援隊・盛り上げ隊実施 68回参加825名					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民ワクワクチャレンジ応援事業 (役割分担) 本事業で支援する「ふくい若者フォーラム」が、若者が新たな活動を始める際の支援事業「県民ワクワクチャレンジ応援事業(若者枠)」の実施・運営等を担う				
市町との連携状況						他県の状況						

「ふくい若者フォーラム」運営支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,265				1,265							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			860	1,132	1,436	1,265	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい若者ステーション運営者向け研修終了 ・ふくい若者ステーション交流会の追加 ・「ふくい若者フォーラム」の運営支援（COTミーティング）の追加 					
2月現計予算額の推移			860	1,132	1,436							
決算額の推移			860	1,121								
前年度までの 主な増減理由		R3：ふくい若者ミライ会議の開催回数増 ふくい若者ステーションの機能強化経費（若者活動支援参画・運営者向け研修）										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ふくい若者フォーラムの ネットワークに参加する若 者の数 (目標) 実績		(1,000) 1,465	(1,000) 1,578	(1,000) 1,668	(1,000)	(1,600)	(1,600)	令和3年度は2月末時点			
活動指標	ふくい若者ミライ会議の開 催数 (目標) 実績		(1) 1	(1) 1	(1) 3	(1)	(1)	(1)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
[成果指標] ・県民ワクワクチャレンジプランコンテスト（若者部門）の企画運営 （公開審査会：7/31） ・ふくい若者ステーションの運営者向け研修を行い、若者フォーラムのネット ワークの参加者の増加（5/26, 6/8） [活動指標] ・ふくい若者ミライ会議の開催（9/5）,（10/31）,（2/27）				・ふくい若者ステーション運営者向け研修終了 ・ふくい若者ステーション交流会の追加 ・「ふくい若者フォーラム」の運営支援（COTミーティ ング）の追加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	171	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の若者「ふくいチャレンジャー」応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課		課長名	橋本直之
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数								
補助率	—			1 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、まちづくりの次世代のプレーヤーとなる若者がやりたいことにチャレンジできる環境をつくる						[問題・課題を表す客観的データ] ○国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口2040年」20-39歳の割合 福井17.8% 石川19.3% 富山 17.6% 全国19.4% ○県内高校卒業者の大学への進学者のうち約70%が県外へ進学 ○県外に進学した者のうち、福井へのUターン率は約30%						
[事業目的] 令和3年度からチャレンジ応援ディレクターを配置し、チャレンジする若者の人材発掘や発信、つながりづくりを行ってきた。令和4年度以降は、これら若者応援活動が持続可能な仕組みとなるよう「若者のチャレンジ応援」の事業体系の構築を図る。												
[事業内容] (1) 〇トづくり (9,900千円) 大学や企業と連携した「地域チャレンジカレッジ(若者教育プログラムコース)」を開設し、地域のリーダーとなる人材を育成(大学教授や企業社長などの講師による講義、フィールドワークを実施) (2) ツナガリづくり (132千円) 「企業内チャレンジ応援ディレクター」を募集し、県内企業による地域活動の応援を実施 (3) バづくり (516千円) ①県内各地で小規模なツナガリづくりイベントを開催(旅するホウカゴトーク) ②「若者ステーション」等で若者チャレンジ相談室を定期的実施 (4) ハッシン (2,200千円) 「若者情報発信局」によるYouTube、SNS(フェイスブック、インスタグラム)による情報発信 (5) チャレンジ応援チーム活動費 (975千円) チャレンジ応援チーム員が「ふくいチャレンジャー」との面談・取材を実施												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

福井の若者「ふくいチャレンジャー」応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本直之			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	13,723				13,723									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						13,723								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	応援または情報発信した若者の数 (目標) 実績					(200)	(200)	(200)						
活動指標	若者関連イベントの開催数 (目標) 実績					(12)	(12)	(12)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

共家事（トモカジ）促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数					3 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 本県は、女性の共働き率（56.8% 全国1位）が高く働く女性が日本一多い一方で、家事等の負担は、女性に偏っており、女性が管理職を目指す障壁にもなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化（R2男女共同参画県民意識調査） ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性：30.3% 男性：16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性：24.4% 男性：10.3%						
[事業目的] 女性の社会進出と男性の家庭進出を表裏一体のものと捉え、夫婦・家族と一緒に家事を楽しむ「共家事（トモカジ）」を家庭のライフスタイルとして定着させる。												
[事業内容] (1) ふくいの家事ステキやん🌀イメージアップキャンペーン ①PR動画の作成および放映 自らが進んで楽しみながら家事を実施するのポイントや、お互いが支え合って実施することの大切さをPRするための動画を作成し、自然にお互いが支え合って家事を共有できる機運を醸成 ②共家事促進店との協働キャンペーン 「共家事」を促進するため、共家事促進店やふくい女性活躍推進企業、各市町男女共同参画担当課と協働して、キャンペーンを実施 (2) 「共家事」講座の実施 ・有識者を講師とし、新たな生活が始まる新婚世帯を対象にした、「共家事」講座を開催 ・手順が簡単で、慣れていなくともすぐに家庭で実施できる、男性の料理教室を実施 (3) 共家事ハンドブック（仮）の作成 現在実施している家事や、今後外部化・省力化が見込める家事、夫婦間の得意家事や苦手家事などが、すべて記載できるようなハンドブック（仮）を作成												
[受益者] 福井県民						[想定される受益者数] 約78万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 働く女性の負担軽減促進事業 (実績) ・「共家事」促進イベント実施企業 10社					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	「共家事」を促進するため、各市町男女共同参画担当課と協働して、家事に関するコンテスト等キャンペーンを実施					他県の状況	富山県「家族でハッピー！家事・育児分担キャンペーン」					

共家事（トモカジ）促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,564	1,386			6,178		地域女性活躍推進交付金（内閣府） 地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			1,084	827	7,564	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージアップキャンペーンの実施 ・共家事ハンドブックの作成 ・男性向けの料理教室の実施 						
2月現計予算額の推移			979	827								
決算額の推移			362									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「共家事促進店」登録店舗数	(目標)	(100)	(100)	(100)							
		実績	104	158								
活動指標	「共家事促進」キャンペーン応募者数	(目標)	(700)	(700)	(700)							
		実績	295	310								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
共家事「見える化」リーフレットを活用したアンケート 応募数 310件 「共家事促進店」登録店舗数は目標を上回ったものの、キャンペーンに応募する人数を増やす（キャンペーンの周知強化）が必要である				イメージアップキャンペーンにてCMを県内各地で放送することにより、家庭内における「共家事」を促進していく				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

女性管理職登用加速事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課		課長名	橋本 直之
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン／第4次福井県男女共同参画計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						[問題・課題を表す客観的データ] ・女性管理職割合13.6%で全国46位(全国平均16.4%) (H27国勢調査)						
[事業目的] 働く女性になりたい自分や叶えたいキャリアを実現し、組織の中で意思決定の場に参画する環境づくりのため、企業における女性管理職登用を加速させるとともに、企業の女性活躍に係る取組みを県内外の学生等に積極的にPRする。												
[事業内容] (1) 女性活躍推進コンシェルジュによる企業の女性管理職登用促進 企業における女性活躍の専門家である社会保険労務士等が企業経営者らを直接訪ね、「ふくい女性活躍推進企業」への登録を働きかけるとともに、女性管理登用の重要性やメリットを説明し、「管理職登用計画」の策定支援を実施する。 (2) 学生等に向けた女性活躍に取り組む県内企業の魅力発信 就職活動を控える学生や、再就職希望者に対し、県内企業の女性活躍に係る取組みを情報誌や動画配信を通じて発信することで、まずは就職先として県内企業を選んでもらい、将来の県内定着を図る。 ○女性管理職登用を進める企業を紹介した情報誌の作成 女性管理職登用目標を達成した企業を紹介する情報誌を作成、就職活動を控えた学生の実家等に送付 ○女性社員による自社の取組みプレゼンテーション動画配信 優良活動表彰授賞式において、若手女性社員が自社の取組みをプレゼンテーションし、学生等に向け動画配信												
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 企業の女性活躍推進事業 (実績) 女性活躍推進コンサルタントを女性活躍推進に課題を抱える県内企業5社に派遣、女性管理職登用に必要な制度改革等の実行支援を実施				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 企業の女性活躍推進事業 (役割分担) ・ふくい女性活躍推進企業登録制度の運営 ・ふくい女性活躍推進企業限定の表彰制度				
市町との連携状況						他県の状況						

女性管理職登用加速事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,856		2,428				2,428	地域女性活躍推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						4,856								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内企業の女性管理職の割合（福井県勤労者就業環境基礎調査）						20.0%		福井県長期ビジョン、第3次福井県男女共同参画計画					
活動指標	ふくい女性活躍推進企業登録数					(330)	(390)		第3次福井県男女共同参画計画					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

企業の女性活躍推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数					8 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン／第4次福井県男女共同参画計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						[問題・課題を表す客観的データ] ・女性管理職割合13.6%で全国46位(全国平均16.4%) (H27国勢調査)						
[事業目的] 女性活躍に積極的に取り組む企業を登録する「ふくい女性活躍推進企業」制度を運営し、女性活躍を推進する企業を増加させることで、働く女性の個性と能力が十分に発揮される社会をつくることを目的とする。各種優遇措置を実施することで登録を促進する。												
[事業内容] (1) 「ふくい女性活躍推進企業」登録制度の運営 ・女性活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を登録、支援 (2) 「ふくい女性活躍推進企業」限定の表彰制度 ・ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰 【個人・グループ部門】対象：職業上の優れた功績を上げた女性・女性グループ 【企業部門】対象：役員、管理職等への女性の登用や育成を積極的に進めているなど、女性活躍推進にかかる取組みについて、顕著な功績を上げた企業 (3) 経営者向け講演会・勉強会による意識改革 ・県内企業経営者に対し、女性管理職登用が経営戦略上重要であることの認識を図るとともに、具体的な取組み事例を提供し、社内での実践を促進する。 【講演会】女性管理職登用により企業の成長を遂げた県外企業の講演 【勉強会】女性活躍推進コンサルティングを受けた県内企業経営者による取組状況の報告、意見交換会の実施												
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担					□ 無 ■ 有 事業名 女性管理職登用加速事業 (役割分担) 女性活躍コンシェルジュにより女性活躍推進企業登録を促進	
市町との連携状況	・「ふくい女性活躍推進企業」への登録促進 ・企業経営者に対して、講演会および勉強会への参加促進					他県の状況					○全国順位等(※H27国勢調査より) ・女性の就業率 52.6% (全国1位) ・共働き率 58.6% (全国1位) ・女性の管理職比率 13.6% (全国46位)	

企業の女性活躍推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,390	374			2,016		地域女性活躍推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,227	2,703	7,149	6,894	2,390	・ 県内企業における女性の管理職登用加速に関する予算額を「女性管理職登用加速事業」として要求					
2月現計予算額の推移		2,227	2,703	953	6,894							
決算額の推移		1,939	1,926	943								
前年度までの主な増減理由	R2：女性活躍プロジェクトチーム支援事業補助金の廃止 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」制度の新設 女性活躍推進コンサルタント派遣の実施（→新型コロナウイルス感染症の影響により中止）											
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「ふくい女性活躍推進企業」登録企業の女性管理職割合	(目標) 実績	12.4 12.2	12.3	12.7			20.0%	福井県長期ビジョン			
活動指標	「ふくい女性活躍推進企業」登録企業数	(目標) 実績	(220) 254	(280) 284	(300) 307	(330)	(390)		令和3年度は2月末時点			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふくい女性活躍推進企業」登録23社 ・ 「ふくい女性のチャレンジ賞表彰」3個人・グループ受賞 ・ 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」【企業部門】4社受賞【個人・グループ部門】10社受賞 ・ 女性活躍推進に関する企業経営者向け講演会、勉強会開催 				女性管理職登用を加速するため、女性活躍推進コンシェルジュの設置など女性管理職登用加速事業を創出				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,504	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度			
事業実施方法	直営、委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン／第4次福井県男女共同参画計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<p>・本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいため、昇進が躊躇われると考えている人が多い</p>						<p>・女性管理職割合13.6%で全国46位（全国平均16.4%）（H27国勢調査） ・役職へ就くことへの不安を感じる40.7% <small>(R元年福井県女性の人生選択と自己実現に関する調査 お茶の水女子大学と福井県の共同研究)</small></p>									
[事業目的]															
お茶の水女子大学と共同作成・実施する本県女性のためのリーダー育成研修プログラムを実施し、女性リーダーおよび管理職の出やすい社会づくりを推進する。															
[事業内容]															
<p>(1) 加速コース（約10か月間継続受講、約60名受講）</p> <p>◇管理職育成コースの実施</p> <p>〔受講方法〕 おおむね5年以内に登用を予定する管理職候補の女性について、企業が受講申込を行う。</p> <p>〔対象〕 県内企業・団体企勤務する女性管理職（課長以上）候補女性 20名</p> <p>〔内容〕 ①お茶の水女子大学連携講座/②スポンサーシップ実践講座/③デザイン思考講座/④リーダーシップ実践講座 ⑤お茶の水女子大学公開講座聴講/⑥お茶の水女子大学ビジネススクール「微音塾」受講（1講座受講、受講料半額負担） ⑦アラカルト講座（地域特性に合わせた生活学習館開催の講座を選択して受講）</p> <p>◇将来リーダー育成コースの実施</p> <p>〔受講方法〕 リーダー（係長など）候補の女性について、企業が受講申込を行う。</p> <p>〔対象〕 県内企業・団体企勤務する女性リーダー（係長等）候補女性 40名</p> <p>〔内容〕 管理職育成コース①③④⑤⑦および⑧「ものづくりスキルアップ講座」を受講</p> <p>(2) 推進コース（1講座単位で受講、約230名受講）</p> <p>〔受講方法〕 企業における女性活躍に関しての各種講座を受講したい方が直接受講申込を行う。</p> <p>〔対象〕 県内企業・団体に勤務する方 200名程度（男性も受講可能）</p> <p>〔内容〕 管理職育成コース①③および将来リーダーコース⑧の講座および女性財団が運営する講座を受講</p>															
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 働く女性の活躍支援事業 (実績) 平成24年度から開始し、142の企業・団体から、263名の女性が参加。受講生の中から83人が管理職やリーダーに登用				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況		・女性のためのキャリアアップ研修への参加促進				他県の状況		・富山県（煌めく女性リーダー塾） ・石川県（女性人材育成プログラム） ・愛知県（女性エンパワーメント支援事業） ・福岡県（ウイメンズ・ビジネス・キャンプ） 他							

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,991				4,991									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					4,991									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	参加者の満足度 (目標) 実績				80%			受講者アンケートを実施						
活動指標	受講者数 (目標) 実績				(300)									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくい女性活躍支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体		公益財団法人	ふくい女性財団		事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		委託										
補助率		—										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[1 学びを伸ばす(人材力)]		関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン/第4次福井県男女共同参画計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>・本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいため、リーダーになることが難しいと考えている人が多い(H27県民意識調査)</p>						<p>新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化 (R2男女共同参画県民意識調査)</p> <p>①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性：30.3% 男性：16.1%</p> <p>②家事分担に関する不満が高まった 女性：24.4% 男性：10.3%</p>						
[事業目的]												
働く女性の悩みを一つの窓口で解決できるよう、ふくい女性活躍支援センターを設置し、再就職・育休復帰支援機能を中心に強化し、女性リーダーの出やすい社会づくりを推進する。												
[事業内容]												
<p>(1) キャリア相談員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性キャリア相談員を配置し、仕事の適正やキャリアアップ、資格や技能の習得、起業・再就職等の相談に対応 <p>(2) マッチングアドバイザーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者への情報提供、マッチングを実施 ・就職を希望する女性に対して再就職支援セミナーや企業面談会を実施 <p>(3) 就職支援指導員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職照会事業所との連携、求人開拓に向けた企業の情報収集や、求職者への情報提供 <p>(4) 保育コンサルジュを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談、保育所等の紹介、市町子育て支援担当課との連携、子育て支援センター等への出張相談 <p>(5) 専門機関の出張相談窓口の開設(福祉介護の仕事相談等、月2回)</p>												
[受益者] 働く女性(働くことを希望する女性を含む)						[想定される受益者数] 18万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい女性つながりサポート事業 (役割分担) サロンで具体化された相談・悩みや、生理用品の配布を通じて相談があったものについては、「ふくい女性活躍支援センター」における女性の就労相談、キャリア相談等につなげる。				
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい女性活躍支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	公益財団法人 ふくい女性財団				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,222				13,222							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	12,525	12,744	13,027	13,254	13,222	・ 人件費の見直し						
2月現計予算額の推移	12,525	12,744	13,027	13,254								
決算額の推移	12,622	12,830	12,924									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	女性活躍支援センターの支援による就職者数 (目標) (110)	(110)	(110)	(110)	(110)			令和3年度は1月末時点				
	実績 121	123	79	54								
活動指標	女性活躍支援センターへの相談者数 (目標) (1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)	(1,200)			令和3年度は1月末時点				
	実績 1,278	1,407	930	821								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の影響により、相談件数および就職者数は昨年度並みとなっている。				引き続きzoomを活用した相談を実施するなど、コロナ禍においても就職等で悩む女性の支援を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	32	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

職場の出会い応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出						[問題・課題を表す客観的データ] ・平均初婚年齢の上昇 男性30.5歳 女性29.0歳 (R2) ・職場や仕事を通じて結婚した夫婦の割合 33.2% (厚生労働省出生動向基本調査 (H27))						
[事業目的] 未婚化・晩婚化が進行していることから、より一層の若者の出会いの応援が必要であるため、「ふくい結婚応援企業」を登録し、企業内で従業員の結婚を応援する「職場の縁結びさん」の設置等により、職域での縁結び活動を拡大する。												
[事業内容] 職場の縁結びさんの設置 (286千円) ①「ふくい結婚応援企業」の登録 令和4年2月末時点登録数 399社 ②企業内で従業員の結婚を応援する「職場の縁結びさん」を設置する。1企業に1名以上配置。 令和4年2月末時点登録数 599人 (ア) 対象者：30～40代後半の既婚者 (イ) 役割：①県から送付される婚活カフェメールマガジンなどの婚活イベント情報を、社内の若手従業員に提供 ②複数企業の職場の縁結びさん同士が連携し、交流会等を開催 ③お見合い相手の紹介												
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人 (R2年国勢調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若手社員の交流推進事業 (役割分担) 本事業で「ふくい結婚応援企業」を増やし、若手社員の交流推進事業で企業間交流を促進する。					
市町との連携状況	市町主催事業を企業へ情報提供					他県の状況	・生涯未婚率 (H27年総務省・国勢調査) 福井県 男性19.19% (3位) 女性8.66% (1位) 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢 (R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.5歳 (17位) 女性29.0歳 (10位) 全 国 男性31.0歳 女性29.4歳 ・婚姻率 (R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.0 (14位) 全 国 4.3					

職場の出会い応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	286	143			143	地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		604	535	386	286	286						
2月現計予算額の推移		604	535	386	286							
決算額の推移		324	226	151								
前年度までの 主な増減理由	R1：職場の縁結び普及員の設置による結婚応援企業登録呼びかけを終了に伴う減 R2：ふくい結婚応援企業統一ロゴマーク作成委託業務の完了に伴う減											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	交流人数 (目標)	(2,000)	(2,300)	(2,400)	(2,500)	(2,500)	(3,000)	(3,000)	ふくい結婚応援企業における企業間交流会等参加人数 令和3年度は2月末時点			
	実績	2,319	2,429	136	117							
活動指標	ふくい結婚応援企業登録数 (目標)	(300)	(350)	(400)	(450)	(450)	(500)	(500)	令和3年度は2月末時点			
	実績	316	371	383	399							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和3年度（2月末時点） ・交流人数：117人 ・ふくい結婚応援企業399社 ・職場の縁結びさん599名				新型コロナウイルス感染症の影響で企業が交流会の開催を控えたため、交流人数の目標を下回った。 今年度予算では新たに、「ふくい結婚応援企業」と協働した企業間交流イベントを開催（若手社員の交流推進事業）し、交流人数の増加を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若手社員の交流推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出						[問題・課題を表す客観的データ] ・平均初婚年齢の上昇 男性30.5歳 女性29.0歳 (R2) ・職場や仕事を通じて結婚した夫婦の割合 33.2% (厚生労働省出生動向基本調査(H27))						
[事業目的] 中小企業が多い本県では、社内で出会いの機会が少ないため、他社との交流により出会いの機会を増やす必要がある。県内企業団体と協力し、企業間交流を促進する専任の担当(企業間交流婚シェルジュ)をおき、若手社員の成婚につなげる。												
[事業内容] (1) 企業間交流婚シェルジュによる企業間交流の促進 ① 応援企業の従業員を対象にした企業間交流セミナーの開催(2回シリーズ×1回) ・ビジネスマナーやライフプランなどをテーマに専門家を招いた講演とワークショップの実施および交流会開催 ② 応援企業の従業員を対象にした交流イベント(スポーツ大会やBBQ大会など)の開催(年1回) ③ 応援企業に交流を促す営業活動および問い合わせ対応(随時) ④ ふくい結婚応援企業が企画・運営する企業間交流イベントの実施(年7回) (2) 職場の縁結びさんのスキルアップと交流支援 職場の縁結びさんを対象に、支援活動のスキルアップや縁結びさん同士の交流促進を目的とした講習交流会および意見交換会を開催する。 (講習会:年1回、意見交換会:年2回)												
[受益者] 20~49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人(R2年国勢調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職場の出会い応援事業 (役割分担) 職場の出会い応援事業で「ふくい結婚応援企業」を増やし、本事業で企業間交流を促進する。				
市町との連携状況						他県の状況		・生涯未婚率(H27年総務省・国勢調査) 福井県 男性19.19%(3位) 女性8.66%(1位) 全 国 男性23.37% 女性14.06% ・平均初婚年齢(R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.5歳(17位) 女性29.0歳(10位) 全 国 男性31.0歳 女性29.4歳 ・婚姻率(R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.0(14位) 全 国 4.3				

若手社員の交流推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,068	2,534			2,534	地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	5,069	4,797	5,363	5,153	5,068	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン交流会の廃止 ・ふくい結婚応援企業が企画・運営する企業間交流イベントの実施 						
2月現計予算額の推移	5,069	4,797	5,315	5,153								
決算額の推移	5,068	4,720	5,279									
前年度までの 主な増減理由	R1：講師・司会謝金の見直しに伴う減 R2：大規模異業種交流会の開催追加に伴う増											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	交流人数	(目標) 2,000 実績 2,319	(2,300) 2,429	(2,400) 136	(2,500) 117	(2,500)	(3,000)	(3,000)	ふくい結婚応援企業における企業間交流会等参加人数 令和3年度は2月末時点			
活動指標	企業間交流会開催数	(目標) 75 実績 81	(100) 108	(125) 7	(150) 17	(150)	(200)	(200)	令和3年度は2月末時点			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
令和3年度（2月末時点） 企業間交流会開催数および交流人数 開催数：17回 交流人数：117人			新型コロナウイルス感染症の影響で企業が交流会の開催を控えたため、交流人数の目標を下回った。 今年度予算では新たに、「ふくい結婚応援企業」と協働した企業間交流イベントを開催（若手社員の交流推進事業）し、交流人数の増加を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							□ 継続	□ 休止	□ 完了			
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

結婚支援市町応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	市町				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	間接補助、補助金											
補助率	国2/3、1/2、県10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
未婚化・晩婚化の進行、出会いの機会の創出						<ul style="list-style-type: none"> ・平均初婚年齢の上昇 男性30.5歳 女性29.0歳 (R2) ・婚姻数の減少 3,029件 (R2) 						
[事業目的]												
市町における様々な出会いの機会の創出や、結婚・子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に関する取組みを支援することにより、結婚を希望する若者を応援する。												
[事業内容]												
<p>市町が行う下記の事業に対し、国の交付金および県補助金を交付する。</p> <p>(1) 地域少子化対策重点推進事業(国庫10/10) 4,370千円 少子化対策事業(「結婚に対する取組」および「結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組」)について、優良事業の横展開を支援する。 ・補助率: 2/3、1/2 ・交付上限額: 中核市 2,000万円(事業費ベース3,000万円)、市町 1,000万円(事業費ベース1,500万円)</p> <p>(2) 結婚新生活支援事業(国庫10/10) 35,900千円 結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを軽減するために自治体が行う取組(新婚世帯を対象に家賃・引越費用等を補助)を支援する。 ・補助率: 1/2(県と連携するモデル事業として国に認定されると2/3に嵩上げ) ・補助上限額: 1世帯当たり600千円 ・対象世帯: 夫婦共に39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新規に婚姻した世帯</p> <p>(3) U25夫婦への支援金 17,000千円 結婚新生活支援事業に取り組む自治体の25歳以下(U25)夫婦に対し、市町を通じ県から支援金を支給する。 ・補助率: 10/10 ・補助上限額: 1世帯当たり100千円 ・対象世帯: (2)結婚新生活支援事業に取り組む自治体における国の制度対象世帯のうち、両方またはいずれかが25歳以下の夫婦世帯</p>												
[受益者] 20~39歳の独身男女						[想定される受益者数] 約8万人(R2年国勢調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 結婚新生活支援事業 (実績) ・内閣府「結婚新生活支援事業費補助金」間接補助事業 28年度 交付決定1件(高浜町) 実績額0円 ・29年度に内閣府「地域少子化対策重点推進交付金」に統合					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	当事業は、市町への補助・間接補助事業である					他県の状況		・内閣府 地域少子化対策重点推進交付金 令和4年度執行分予算 36.7億円				

結婚支援市町応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	間接補助、補助金												
補助率	国2/3、1/2、県10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	57,270	40,270			17,000	地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		7,094	4,746	2,298	64,512	57,270	・予算額は、交付金の活用に関する市町意向調査の結果により決定						
2月現計予算額の推移		860	875	18,476	54,030								
決算額の推移		695	727	418									
前年度までの 主な増減理由		R2：2月補正において、18,000千円を明許繰越 R3：結婚新生活支援事業および早婚（U25）夫婦支援事業の実施に伴う増											
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	結婚新生活支援事業実施市町				(6) 7	(8)	—	—					
活動指標	採択市町数						—	—					
		2	2	4	9								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
令和3年度実績 (1) 地域少子化対策重点推進事業 実施市町：福井市、あわら市、坂井市 (2) 結婚新生活支援事業 実施市町：敦賀市、大野市、あわら市、越前市、永平寺町、南越前町、美浜町 (3) U25夫婦への支援金 実施市町：敦賀市、大野市、あわら市、永平寺町、南越前町				結婚新生活支援事業および早婚（U25）夫婦支援事業実施予定市町が増加しており、婚姻件数のさらなる増加を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	25,242		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

オールふくい連携婚活応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金			経過 年数					3 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[子ども・子育て応援計画／ふくい創生・人口減少対策] 戦略					
[解決すべき問題・課題] 結婚を希望している県民への出会いの機会提供 若い世代の婚活参加促進						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の20歳～39歳の未婚者へのアンケート結果において、婚活経験がある方の割合が低下 男性：H25 26.2% → H30 17.4% (△8.8%) 女性：H25 36.2% → H30 34.9% (△1.3%) (福井県結婚・子育てに関するニーズ調査)						
[事業目的] 県と市町からなる「ふくい結婚応援協議会」が運営する「ふくい婚活サポートセンター」において、若い世代のニーズにあった婚活サービスであるAIを活用したマッチングシステムの運用や広域的な婚活イベントを開催するなど、オールふくい体制による婚活支援を進めることで、県民の結婚を応援する。												
[事業内容] (1) センターにおける支援体制の整備 センター長(協議会事務局長)および事務職員(2名)の配置 ※(2)～(6)の業務を実施 (2) 会議開催 県・市町・関係団体等による連携事業の検討・実施のための会議を開催 定期総会(2回)、臨時総会(1回) (3) マッチングシステムの運用 スマートフォンやパソコンを利用していつでも婚活ができるマッチングシステムの運用に係る保守経費 嶺南サテライトにおける登録会およびオンライン面談を実施 (4) 婚活イベントの開催 県全域を対象とした婚活イベント、県外からの移住希望者向け婚活イベント、会員向けイベント等を開催 (5) 結婚・婚活にかかる情報発信 センターホームページ開設、SNS、テレビ、雑誌等の広報媒体により、イベント情報等を定期的に発信 (6) 民間事業者との連携強化 登録者がお見合いや交際をうまく進めるための伴走型支援を民間事業者と連携して実施、成婚増につながる仕組み検討のための協議の場の設定												
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	市町と連携して結婚支援を進めるための協議会を設立 支援拠点となるセンターを設立、運営					他県の状況			・34の都道府県が結婚支援センターを設置 ・29の都道府県がマッチングシステムを運用			

オールふくい連携婚活応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	負担金									経過年数		
補助率	-									3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	23,536	15,690			7,846		地域少子化対策重点推進交付金(内閣府)					
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		-	-	32,102	20,409	23,536	「ふくい婚活サポートセンター」ホームページ開設 民間事業者との連携事業実施					
2月現計予算額の推移		-	-	31,170	20,409							
決算額の推移		-	-	30,573								
前年度までの主な増減理由	R3:マッチングシステム構築完了に伴う減											
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	成婚実績	(目標) -	(目標) -	(15)	(20)	-	-	-	マッチングシステム登録者の成婚実績 令和3年度は2月末時点			
		実績 -	実績 -	1	1							
活動指標	マッチングシステム登録者数	(目標) -	(目標) -	(200)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	-	令和6年度末:1,000人 令和3年度は1月末時点			
		実績 -	実績 -	642	1,128							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・マッチングシステムの登録者については、目標を大きく上回る642人の登録があった。 ・一方で、登録者の男女比が2:1となっており、女性の登録者を増やす仕組みづくりが必要である。				・SNSによる広報等を強化することにより、女性登録者増につなげ、登録者により多くの出会いの機会を提供する。 ・システム登録者のサポートを強化するため、民間事業者と連携したセミナー開催等を行う。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

大学生対象ライフデザイン講座開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			事業開始 年度					R2 年度		
補助率	—			経過年数					3 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政 策 [4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援]				関連する県の計画等		[子ども・子育て支援計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]				
[解決すべき問題・課題] 若者に対する結婚・出産についての意識醸成						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の20歳～39歳の未婚者へのアンケート結果において、婚活を希望する方の割合が低下 できるだけ早く(いずれは)結婚したい H25 80.8% → H30 74.0% (△5.2%) あまり結婚したいとは思わない・結婚するつもりはない H25 11.7% → H30 14.4% (+2.7%) (H30福井県結婚・子育てに関するニーズ調査)					
[事業目的] 未婚化・晩婚化の進行と並行して、若者の結婚、恋愛への関心が薄れており、結婚を希望する若者の割合が低下している(結婚・子育てニーズ調査)。 大学のキャリア支援部門と協力し、就職に向けたキャリアデザインの一環として、ライフデザイン形成のためのセミナーを開催し、若いうちに自らのライフプランを考えること によって将来の結婚や出産への意識づけを行う。また、このセミナーにおいて、結婚・子育て環境に恵まれた福井の良さを伝え、本県への定住促進にもつなげる。											
[事業内容] 大学講義におけるライフデザインセミナー実施 大学キャリアセンター等が開催するキャリアデザインの講義科目内で、県から派遣する専門講師によるライフデザインセミナー(2回)を実施。 あわせて、結婚・出産後も仕事を継続することが可能と思えるような事例を紹介する 対 象：講座受講生(大学1～2年生) 実施大学：嶺北・嶺南で各1校 内 容：結婚・出産を含めたライフデザイン・キャリアデザイン、妊娠適齢期等の知識、福井の優れた結婚・子育て環境の紹介等											
[受益者] 20～49歳の独身男女						[想定される受益者数] 10万人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	県で実施するライフデザイン講座の内容を情報提供					他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯未婚率(R2年総務省・国勢調査) 福井県 男性22.52%(3位) 女性11.65%(1位) 全 国 男性25.69% 女性16.37% ・平均初婚年齢(R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 男性30.5歳(17位) 女性29.0歳(10位) 全 国 男性31.0歳 女性29.4歳 ・婚姻率(R2年厚労省・人口動態統計) 福井県 4.0(14位) 全 国 4.3 				

大学生対象ライフデザイン講座開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	地域戦略部	課名	県民活躍課	課長名	橋本 直之		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	-									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	303	151			152	地域少子化対策重点推進交付金（内閣府）							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		-	-	303	330	303	・講師謝金の見直し						
2月現計予算額の推移		-	-	300	41								
決算額の推移		-	-	215									
前年度までの主な増減理由	R3:事例紹介者（ロールモデル）経費の増												
[成果指標等の推移]													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	受講者数	(目標)	-	-	(160)	(160)	(160)	-	-	1大学80人×2大学			
		実績	-	-	141	126							
活動指標	講座開催数	(目標)	-	-	(2)	(2)	(2)	-	-				
		実績	-	-	2	3							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
R3ライフデザイン講座開催実績 ・若狭医療福祉専門学校 1年生と4年生 31名 （理学療法科：23名、介護福祉科：8名） ・福井県立大学 1年生 95名 （経済学部1回目：29名、経済学部2回目：69名） 受講者合計：126名				・結婚や子育てをより具体的にイメージできるよう育児休暇を取得した男性、子育て経験のある管理職の女性を交えたグループワークを講座に組み込むことで、受講者数の増加を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	27		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			